

インドネシア 看護候補生の活動



経済上の連携に関する日本とインドネシア共和国との間の協定（EPA）により、平成 20 年 8 月に来日し、神戸で 6 ヶ月間の日本語研修を受け、平成 21 年 2 月より 2 名の看護候補生が阿品土谷病院で研修を行なっています。
インドネシアでは看護師として働いていましたが、日本では看護師の国家資格がないため、看護助手として働いています。患者様の清潔の援助や食事介助などを行っています。
日本の看護師国家試験合格を目指し、病棟研修・日本語学習・国家試験勉強と日夜頑張っています。
2 人の研修生を紹介します。

インドネシアは、東南アジア南部の国家。赤道にまたがる 1 万 7500 もの大小の島により構成されます。
2 億 4 千万人が住む、世界第 4 位の人口、ジャワ人・スンダ人・マドゥラ人・その他の多民族国家。
首都：ジャカルタ
公用語：インドネシア語
宗教：イスラム教・プロテスタント・カトリック・ヒンドゥー教・仏教など
通貨単価：ルピア
Rp.90 1円
(2009 年 6 月)
気候：赤道直下の熱帯性気候(乾季・雨季)
インドネシアには、世界遺産が多数あります。



患者様のためにベストを尽くします。
Do My Best.



日本語がもっとわかるようになりたいです。
一生懸命に仕事頑張っています。



日本の病院で働くことをとても楽しみに希望をもって、二人は遠いインドネシアより阿品土谷病院にやってきました。神戸での 6 ヶ月間の日本語研修で、日常会話程度の日本語は話せるようになっており、職員や患者様にも積極的に話しかけています。今では、病院にも仕事にも慣れ、明るく・伸び伸びと研修しています。

初めての日本の生活、ホームステイで日本の一般家庭での生活も体験しました。言葉や宗教の違い、食事や四季折々の生活等々、日本文化に触れ体験してください。

2 人は、看護師国家試験に合格できるように頑張っています。私たちも応援しています。



左：トジさん 右：エルナさん